

モバイルオフィスカー 工事部長会議に展示

大成ロテック

大成ロテックは東京都新宿区の本社で2月27日に開いた全国工事部長会議で、敷地内にモバイルオフィスカーを展示した。写真。モバイルオフィスカーはオリックス自動車が開発し、事務所機能を備える。大成ロテックは働き方改革の一環として2016年から導入を開始。モバイルオフィスカーを見た社員からは「作業環境の向上に役立ちそうだ」「積極的に導入したい」



などの声が寄せられており、全国展開に弾みが付きそうだ。

展示したのは大きめのデスクを配置した事務所タイプの4号機、車両後部が平らで休憩所としても使える5号機、デスクを最小限にし、積み荷スペースを大きくした6号機の3タイプ。

道路舗装の工事では現場近くに現場事務所を設けないケースが多く、メール処理や日報作成といった作業は支店や営業所などに戻って行う必要があった。モバイルオフィスカーの導入によって、現場から事務所への移動時間で事務作業が可能になり、残業時間の削減につながっているという。

モバイルオフィスカーを初めて見た社員は「休憩所や打ち合わせスペースとして使いたい」「空き時間を有効活用できる」などと感想を述べた。